

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 4 年 4 月 4 日(2022.4.4)

【公開番号】特開 2020-167610(P2020-167610A)
【公開日】令和 2 年 10 月 8 日(2020.10.8)
【年通号数】公開・登録公報 2020-041
【出願番号】特願 2019-68565(P2019-68565)
【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00(2006.01)

10

H 0 4 N 1/387(2006.01)

G 0 6 F 13/10(2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 1 2 7 B

H 0 4 N 1/00 L

H 0 4 N 1/387 1 1 0

G 0 6 F 13/10 3 3 0 B

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 25 日(2022.3.25)

20

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

情報処理装置と画像処理装置とを含む画像処理システムであって、

前記画像処理装置は、

前記情報処理装置から、所定の画像サイズが指定されている原稿の読取指示を受信した場合、読取手段に前記原稿を読み取らせることにより、原稿の読取データに対応する第 1 の画像を取得する第 1 取得手段と、

前記第 1 取得手段により取得された前記第 1 の画像を原稿領域として含む前記所定の画像サイズの画像を前記情報処理装置へ送信する送信手段と、を備え、

前記情報処理装置は、

前記画像処理装置から送信された前記所定の画像サイズの画像から前記原稿領域としての前記第 1 の画像を取得する第 2 取得手段、を備え、

前記送信手段は、前記原稿領域に所定の画像特徴を有する付加画像が付加された、前記所定の画像サイズの画像を送信し、

前記第 2 取得手段は、前記付加画像の前記所定の画像特徴に基づいて、前記原稿領域としての前記第 1 の画像を取得する、
ことを特徴とする画像処理システム。

【請求項 2】

前記情報処理装置は、ドライバを用いて前記送信手段により送信された前記所定の画像サイズの画像を受信し、アプリケーションプログラムを用いて前記ドライバにより受信された当該画像から前記第 1 の画像を取得することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理システム。

【請求項 3】

前記所定の画像特徴は、特定色であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像処理システム。

50

【請求項 4】

前記所定の画像特徴は、複数の色を有するパターンであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像処理システム。

【請求項 5】

前記第 1 取得手段による前記第 1 の画像の取得、前記送信手段による前記第 1 の画像または前記付加画像の送信、は、前記所定の画像サイズの画像の 1 ラインごとに行われることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の画像処理システム。

【請求項 6】

前記第 2 取得手段は、前記所定の画像サイズの画像を受信した後、前記第 1 の画像を取得することを特徴とする請求項 5 に記載の画像処理システム。

10

【請求項 7】

前記第 2 取得手段は、前記所定の画像サイズの画像における 1 ライン分を受信すると、該 1 ライン分の読取データから、前記第 1 の画像に含まれる画像データを取得することを特徴とする請求項 5 に記載の画像処理システム。

【請求項 8】

前記情報処理装置は、前記画像処理装置から受信した 1 ライン分の読取データに、前記第 1 の画像に含まれるデータがあるか否かを判定する判定手段、をさらに備え、
前記第 2 取得手段は、前記判定手段により前記第 1 の画像に含まれるデータがあると判定された場合、前記第 2 取得手段は、前記 1 ライン分の読取データから、前記第 1 の画像に含まれるデータを取得することを特徴とする請求項 7 に記載の画像処理システム。

20

【請求項 9】

前記判定手段は、前記原稿領域の端部に対応するデータの有無に基づいて、前記画像処理装置から受信した 1 ライン分の読取データに、前記第 1 の画像に含まれるデータがあるか否かを判定することを特徴とする請求項 8 に記載の画像処理システム。

【請求項 10】

前記情報処理装置は、前記情報処理装置のオペレーティングシステムにより提供される第 1 のドライバと、ベンダーにより提供される第 2 のドライバを有し、前記第 1 のドライバと前記第 2 のドライバのそれぞれを介して前記画像処理装置との間での通信を行い、
前記付加画像の付加は、前記画像処理装置が、前記第 1 のドライバを介して前記読取指示を受信した場合に行われることを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の画像処理システム。

30

【請求項 11】

情報処理装置と通信可能な画像処理装置であって、
前記情報処理装置から、所定の画像サイズが指定されている原稿の読取指示を受信した場合、読取手段に前記原稿を読み取らせることにより、原稿の読取データに対応する第 1 の画像を取得する第 1 取得手段と、
前記第 1 取得手段により取得された前記第 1 の画像を原稿領域として含む前記所定の画像サイズの画像を前記情報処理装置へ送信する送信手段と、
を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 12】

情報処理装置と画像処理装置とを含む画像処理システムにおいて実行される画像処理方法であって、
前記画像処理装置が、
前記情報処理装置から、所定の画像サイズが指定されている原稿の読取指示を受信した場合、読取手段に前記原稿を読み取らせることにより、原稿の読取データに対応する第 1 の画像を取得する第 1 取得工程と、
前記第 1 取得工程において取得された前記第 1 の画像を原稿領域として含む前記所定の画像サイズの画像を前記情報処理装置へ送信する送信工程と、
前記情報処理装置が、
前記画像処理装置から送信された前記所定の画像サイズの画像から前記原稿領域としての

40

50

前記第 1 の画像を取得する第 2 取得工程と、を有し、
前記送信工程では、前記原稿領域に所定の画像特徴を有する付加画像が付加された、前記
所定の画像サイズの画像を送信し、
前記第 2 取得工程では、前記付加画像の前記所定の画像特徴に基づいて、前記原稿領域と
しての前記第 1 の画像を取得する、
ことを特徴とする画像処理方法。

【請求項 13】

情報処理装置と通信可能な画像処理装置において実行される画像処理方法であって、
前記情報処理装置から、所定の画像サイズが指定されている原稿の読取指示を受信した場
合、読取手段に前記原稿を読み取らせることにより、原稿の読取データに対応する第 1 の
画像を取得する第 1 取得工程と、
前記第 1 取得工程において取得された前記第 1 の画像を原稿領域として含む前記所定の画
像サイズの画像を前記情報処理装置へ送信する送信工程と、
を有することを特徴とする画像処理方法。

10

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

20

上記課題を解決するため、本発明に係る画像処理システムは、情報処理装置と画像処理装
置とを含む画像処理システムであって、前記画像処理装置は、前記情報処理装置から、所
定の画像サイズが指定されている原稿の読取指示を受信した場合、読取手段に前記原稿を
読み取らせることにより、原稿の読取データに対応する第 1 の画像を取得する第 1 取得手
段と、前記第 1 取得手段により取得された前記第 1 の画像を原稿領域として含む前記所定
の画像サイズの画像を前記情報処理装置へ送信する送信手段と、を備え、前記情報処理装
置は、前記画像処理装置から送信された前記所定の画像サイズの画像から前記原稿領域と
しての前記第 1 の画像を取得する第 2 取得手段、を備え、前記送信手段は、前記原稿領域
に所定の画像特徴を有する付加画像が付加された、前記所定の画像サイズの画像を送信し
、前記第 2 取得手段は、前記付加画像の前記所定の画像特徴に基づいて、前記原稿領域と
しての前記第 1 の画像を取得することを特徴とする。

30

40

50